

総合的な学習の時間学習指導案

三次市立河内小学校

指導者〇〇 〇〇

- 1 日 時 令和7年11月18日(火) 4校時
- 2 学 年 第5学年(男子1名)
第6学年(男子3名 女子1名 計4名)
- 3 場 所 三次市立三次小学校 高学年ルーム
- 4 単元名 ふるさと河内きらっ☆とプロジェクト～しわせこうち食堂でつながろう～
- 5 単元について

(1) 単元観

本校の位置する河内地域は、西城川・神野瀬川に沿った自然豊かな地域であり、史跡や旧跡、天然記念物も多く、歴史のある町である。「元気・住みよいふれ愛の里 河内」をスローガンに、元気の出る住みよい地域づくり、連帯を深め明るい町づくりをめざして、毎年、ふれ愛祭りや合同体育祭を実施している。しかし、少子高齢化が著しく、地域の活性化に大きな影響を与えているという現状である。

本単元では、自分達が住む河内地域が抱えている人口減少や高齢者の増加などの課題に対して、地域活性化に取り組む必要性や重要性について理解を深めるとともに、地域が抱える課題を解決するためにできることを考えていく。そのために、河内の人を「知り」、河内の人と「関わり」、河内の人と「つながる」ことで、自分達も地域の一員として課題を解決するために主体的に社会参画する態度を育成していくことをねらいとしている。

2か月に1回開催されている「しあわせこうち食堂」は、保護者の方が発起人となり、令和4年度より始めた取組の一つである。児童の多くが手伝いをしたり、みんなで集い、食事を楽しむことに参加したりしており、地域課題を解決する取組の一つとしてしあわせこうち食堂を活用させていただくことは、一人ひとりが主体的に課題を見付け、解決に向けた活動を行っていく際に取り組みやすいと考える。

また、地域でこれまで活動した経験を関連付けながら河内地区に住む自分や家族、地域の人々誰もが日々の生活の中でより充実感をもち、生き生きと暮らしをしていくために、自分達ができることを考えながら探究的な学習を行うことを通して、自己の生き方へも生かすことができると考える。

(2) 児童観

本学級の児童は、ふるさと河内が大好きであり、これまで地域の方と共に様々な行事を行う中で自分達が地域の方に支えられ、見守られていることやつながりを強く感じている。また、自分の地域をよりよくするために、できることをしていきたいという思いを持っている。

これまでの総合的な学習の時間を通して、地域の現状から生じた疑問や関心から課題を見付け、課題解決に向けて情報を収集・整理・分析し、自分の経験と結びつけたり、考えを出し合ったりしながら課題の解決に取り組んできた。その過程を通して、考えや意見などをまとめ・表現し、そ

こからまた新たな課題を見付け、解決をするといった探究的な学習の楽しさを感じ、主体的に活動したり、考えを広げたり深めたりしたりする力も高まってきている。

5月に実施した総合質問紙調査の結果、みよし学園で育成したい資質・能力に関して行ったアンケートの結果は次の通りである。

みよし学園で育成したい資質・能力に関して行ったアンケートの結果

資質・能力	項目	よくあてはまる	ややあてはまる
コミュニケーション能力	友達と話し合うとき、自分の考えを言葉で伝えることができますか。	60%	40%
協調性	一人では解決が難しい問題を解決するために、友達と協力していますか。	100%	0%
主体性	自分で決めたことは、最後まであきらめずに取り組んでいますか。	40%	60%

総合質問紙調査（5月）の結果

項目	よくあてはまる	ややあてはまる
あなたは、物事を行うとき、次に何をすべきかを自分なりに判断して行動していますか。	60%	40%
クラス全体やグループ、友達同士で話し合いをするとき、自分の意見を積極的に発言していますか。	40%	60%
クラスの話し合いや友達との間で意見が合わなかったとき、みんなが納得できるように考えて、授業していますか。	40%	60%
あなたは、学校生活の中で他の人が発言したり、発表したりするときに、質問していますか。	0%	100%
あなたは、学校生活の中で発言するとき、他の人と同じ意見だった場合でも、自分なりに考えて発言していますか。	40%	60%

これらの結果から、日々の生活の中で、様々な課題に対して設定した目標達成に向けて、主体的に行動していくことができる児童の割合が高い。しかし、自分の考えをもち、積極的に発言することはできるが、友達の意見を共感的に受け止め、意見が異なる場合でも自分の意見を主張したり、根拠を示しながら相手を納得させたりしようとする意欲は低いと言える。また、友達と協力して課題解決に向けて取り組むことはできるが、友達の発言に対して意見を出し合ったり、質問し合ったりしながら、よりよい解決方法を考えたり、考えを深めたりするまでに至っていない。

(3) 指導観

指導にあたっては、単元の導入において、昨年度伺った河内の住民一人ひとりが主役となるような町づくりをめざして活動している地域の方の話から河内地域のよさと課題を整理していく。「地域の方々のつながりが強いが、横のつながりが薄れてきている。誰もが元気に触れ合える町を未来につないでほしい。」「家にこもりがちな高齢者が少しでも外に出て活動できるようにしてほしい。」という願いとともに、「地域の人が集まる場を作りたい。」という運営者の方の思いからしあわせこ

うち食堂が開催されている経緯を知り、課題解決に向けて、運営に参画していきたいという思いを高めていく。

活動にあたっては、まず、運営している保護者の方に運営する上での願いや課題をインタビューしたり、質問したりする中で、課題解決のための活動の目的を明確にし、活動内容を考えていく。活動の過程においては、友達同士で相互に評価し合ったり、運営している保護者の方に評価していただいたりすることで、自分達が取り組もうとする内容について振り返る場を設定する。また、自分の意見や考えを友達に提案する活動では、自分の考えが伝わるようにまとめたり、提案する相手にふさわしい表現を工夫したりし、プレゼンテーションの方法を考えさせる。これまでのしあわせこうち食堂の様子を想起させるなど、自分の経験と結びつけながら友達の提案を検討させ、質問や意見交流することを通して、協働的によりよい解決方法を見いだしていくようにしていきたい。

6 単元の目標

地域を活性化する活動を考え、実行することを通して、地域のよさや課題、まちづくりに携わる人々の思いを知るとともに、地域の一員として積極的にまちづくりに参画することができるようにする。

7 単元計画（別紙）

8 単元の評価規準

ア 知識・技能	イ 思考力・判断力・表現力	ウ 主体的に学習に取り組む態度
<p>① 河内のまちづくりに関する取組とそれに携わる人々の思いがあることを理解している。</p> <p>② 河内のよさや人々の思いを理解するために、目的に応じて情報を収集したり、必要な情報を取捨選択したりしている。</p> <p>③ 地域に住む一員としての自分の関わりが地域の活性化につながっていることへの理解は、探究的に学習してきたことの成果であることに気付いている。</p>	<p>① 河内のまちづくりについて、地域の特色を生かした取組や携わる人の思いから、地域のよさや課題を明らかにし、探究課題を設定している。</p> <p>② しあわせこうち食堂の運営に携わるために必要な情報について手段を選択し、多様な方法で収集している。</p> <p>③ 課題の解決に必要な情報を取捨選択したり、収集した情報を比較・関連付けたりしながら解決に向けて考えている。</p> <p>④ 地域の活性化につながる取組について自分にできることを考えるとともに、企</p>	<p>① しあわせこうち食堂の企画・提案内容について、根拠を基に、他者と思いや考えを交流し合うことで、課題解決に向けたよりよい解決方法を考えようとしている。</p> <p>【コミュニケーション能力】</p> <p>② 一人では解決が難しい課題に対して、他者の意見や考え方を生かしながら、協働して問題解決に取り組もうとしている。【協調性】</p> <p>③ 地域に住む一員であることを自覚し、地域の活性化のために自分ができることを積極的に企画・提案し、実行しようとしている。</p>

	画・提案内容を図，写真等を用いて効果的に表現している。	【主体性】
--	-----------------------------	-------

9 本時の展開

(1) 本時の目標

グループごとに考えた企画・提案内容を相互評価することを通して，設定した運営の目的により合った内容となるように意見を交流したり，改善を図ったりすることができる。

(2) 本時の評価規準

しあわせこうち食堂の企画・提案内容について，根拠を基に，他者と思いや考えを交流し合うことで，課題解決に向けたよりよい解決方法を考えようとしている。

〔主体的に学習に取り組む態度①〕

(3つの資質・能力について)

しあわせこうち食堂の企画・提案内容について自分の考えを持ち，自分と友達の思いや考えを比較検討しながら聞き，視点に沿って意見を交流することができる。

〔コミュニケーション能力〕

【ルーブリック】

A	企画・提案内容について，視点に沿った検討を行う中で課題を見だし，自分の意見を伝えたり，友達の意見も参考にして具体的な改善案を考えたりすることができる。
B	企画・提案内容について，検討の視点に沿った自分の意見を伝えたり，改善案を考えたりすることができる。
C	企画・提案内容について，自分の意見を伝えることができる。

B評価に至らない児童への支援方法

- ・ 10月のしあわせこうち食堂での活動を写真等で振り返らせ，課題を解決する内容になっているかを考えさせる。
- ・ 友達の意見に対して，自分はどのように考えるかを伝えるように促す。

(3) 準備物

発表する際に必要なもの，タブレット，電子黒板

(4) 本時の展開

	学習活動	○指導上の手立て ●留意点	評価規準 (評価方法)
導入	1 単元のゴールを確認し、本時のめあてを設定する。	○単元計画から本時のめあてを設定する。	
	2 本時のめあてを確認する。		
	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block; margin-bottom: 5px;">本時のめあて</div> 12月の「しあわせこうち食堂」に向けた企画・提案内容を検討し、改善案を考えよう。		
		○「世代をこえてつながろう～楽しく交流！ みんな笑顔で心も元気！！」という活動の目的を確認し、目的に合った企画になっているかという視点で検討していくことを確認する。	
展開	3 10月のしあわせこうち食堂を企画・運営した成果と課題を様々な立場から確認する。 ・運営に関わった自分達から ・運営している保護者の方から ・来てくださったお客さんから	○10月のしあわせこうち食堂の課題を整理し、企画内容を提案・検討する際の視点とさせる。	
	4 企画・提案内容を発表する。 ・目的 ・内容 ・実施計画 ・想定される効果 【検討する視点】 ・目的を達成できる内容になっているか。 ・10月のしあわせこうち食堂の課題を解決する内容になっているか。 ・実現可能な内容か。	○企画・提案内容について、相手に納得してもらえるように根拠を明確にし、筋道を立てて発表させる。 ○検討する視点について、自分の考えと比較しながら聞かせる。	
	5 企画・提案内容に対して、意見交流する。	○企画・提案内容について、疑問に思うことを質問したり、答えたりする中で、考えを深めさせ、改善策を考える際の	しあわせこうち食堂の企画・提案内容について、

展 開	6 企画・提案内容について出された意見を整理し、改善案を考える。	手立てとなるようにする。 ○グループで実施に向けた内容について再度検討し、運営されている保護者の方にプレゼンテーションする内容に改善していくようにする。	根拠を基に、他者と思いや考えを交流し合うことで、課題解決に向けたよりよい解決方法を考えようとしている。
	【予想される児童の反応例】 <ul style="list-style-type: none"> ・もっと世代を超えて交流できるような内容や当日の運営について考えていこう。 ・もっと季節感や栄養について考えたメニューを考えてみよう。 ・計画を実行するために、協力してもらえぬ地域の人を見つけたり、お願いしに行ったりする必要がある。 ・準備を計画的に進めていくために、何からしていかないといけないのか確認しよう。 		
終 末	7 本時のまとめをする。		
	【本時のまとめ】 <p>設定した目的を達成するために、もっと必要な情報を収集したり、検討したりして、魅力的な企画・提案内容にしていく必要がある。</p>		
	8 本時の振り返りをする。	・意見交流を通して気づいたことや考えが深まったこと、本時で育てたい資質・能力について振り返らせる。	
【振り返りに表記させたい資質・能力に関する記述】 <ul style="list-style-type: none"> ・友達から意見をもらうことで、もっと地域の方が行ってみたいと思うような内容を考えていきたいと思った。 ・友達の企画や提案内容について、自分の意見を伝えたり、質問したりすることができた。 ・次の時間は、今日友達からもらった意見をもとに内容を考え直して、プレゼンする準備をしていきたい。 			